

## コラム 緑化植物 ど・こ・ま・で・き・わ・め・る

### コブシ (*Magnolia kobus* DC.)

大曾根陽子 (首都大学東京理工学研究科) osone-yoko@tmu.ac.jp



まだ樹々の葉が開かない早春、白い花を枝いっぱいにつけた遠目にも目を引く樹があれば、それはおそらくコブシである。コブシはモクレン科モクレン属(*Magnolia*)の落葉高木である。白い花は直径 7~10cm の雌性先熟の両性花、さわやかな芳香を放つ<sup>6)</sup>。その美しい花ゆえ、観賞用として庭や公園に植えられほか、街路樹にも使われる。ゆったりした枝ぶりで、単植樹では丸みを帯びた特徴的な樹形をとる<sup>5)</sup>。花の時期、このような形に育ったコブシに夜間、街灯が当たると、多数の白い花が繊細な模様のように闇に浮き上がり、まるで大きな「ぼんぼり」のように見える。

コブシは北海道、本州、四国、九州、韓国の済州島に分布する。日本海側に生息する葉や花がやや大きいものは、変種とみなされ、キタコブシ(*M. kobus* var. *borealis* Sarg.)と呼ばれている。おもな生息地は、丘陵地帯から低山帯の日当たりのよい適潤な肥沃地である。明るい環境に生育する陽樹であるが、幼齢時には耐陰性をもつことが知られている<sup>1)</sup>。多数の袋果が集まった 7~10cm の集合果は、握りこぶしに似た形状をしており、種名の由来ともなっている。9月~10月に成熟すると、それぞれの袋果の果皮が開裂し、朱色の仮種皮に包まれた種子が白い糸状の珠柄の先にぶらさがる<sup>3), 6)</sup>。種子は鳥によって被食散布される。都市域では、ヒヨドリなどの鳥が種子を運ぶことで、植栽樹由来のコブシが都市林や緑地に定着することが少なくない<sup>2)</sup>。

種子を採取する場合には一部の袋果が開裂し始めた時に、集合果を採り、2, 3日陰干ししてすべての果皮が開くのを待つと良い。種子は乾燥させると発芽力が低下するので、翌春まで保湿低温貯蔵または土中貯蔵をする。仮種皮が残って

いると発芽が抑制されるので、貯蔵の前に取り除いておく。保湿低温貯蔵した場合、翌春の発芽率は 80%を超えることもある。また、播種前の 60 日以上低温 (1~5℃) 湿層処理は発芽に有効である。病虫害が少ないため、発芽後の育苗は比較的容易である<sup>3)</sup>。

ところで、モクレン属の植物はアジアと北アメリカを中心に約 90 種が存在する。この属の植物は、概して見栄えのする香りの良い花をつけ、種間交雑が容易である、園芸用にはもってこいの植物なのである。特にモクレン属が自生しないヨーロッパでは、エキゾチズムをそそのめるのか、愛好家が多い。交配により多数の園芸品種も作り出されており、現在その数は 1000 種を超えるという<sup>4)</sup>。コブシの交雑種としては、コブシと日本原産の近縁種シデコブシ(*M. stellata* (Sieb. et Zucc.) Maxim.) をかけ合わせた *M. ×loebneri* Kache、コブシとタムシバ(*M. salicifolia* (Sieb. et Zucc.) Maxim.) との自然交配でできたとされるシバコブシ(*M. ×kewensis* Hort. ex Pearce) などがあり、いずれも美しい。

一方で、交雑が容易であるため、人為的な植栽によって、予期せぬ交雑がおこる可能性がある。したがって、コブシをその近縁種の自生地近くに植栽したり、コブシの雑種をコブシの自生地近くに植栽したりすることは自生地の遺伝子汚染を防ぐためにも避けるべきである。

#### 引用文献

- 1) 肥後睦照 (1986) 落葉性広葉樹林の動態—小面積ギャップにおける更新木の生長, 日本林学会論文集, 97: 327-328.
- 2) 石田弘明・戸井可名子・武田義明・服部保 (2008) 都市域の孤立化した夏緑二次林における緑化・園芸樹木の逸出状況とその特徴, 保全生態学研究, 13: 1-16.
- 3) 勝田 証・森徳典・横山敏孝 (1998) 日本の樹木種子 広葉樹編, モクレン属, 林木育種協会, pp.127-135.
- 4) Magnolia Society, <http://www.magnoliasociety.org/>
- 5) Spongberg, S. A. (1998) Magnoliaceae hardy in cooler temperate regions. Magnolias and their allies - Proceedings of an international Symposium, pp.81-144.
- 6) 高橋秀男・勝山輝男監修 (2000) 樹に咲く花—離弁花 1 (山溪ハンディ図鑑 3), 山と溪谷社, pp.372-373.



街路樹として植栽されているコブシ



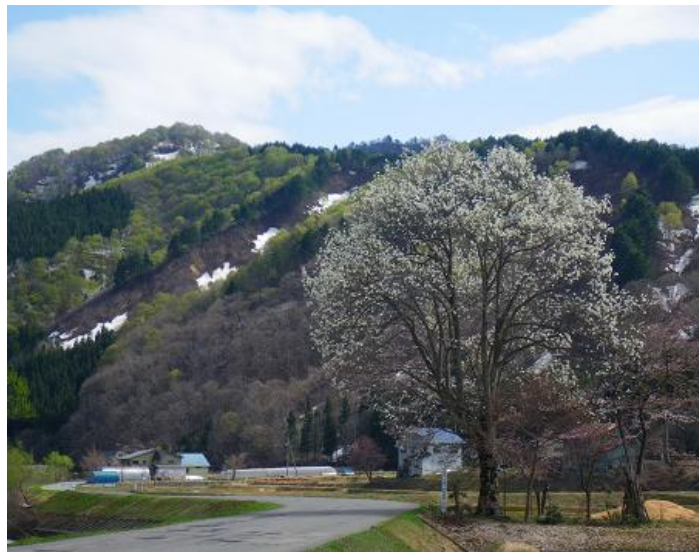
コブシの花. 赤く見えるのは雄蕊.



コブシの果実.



シデコブシは、東海地方にのみ自生する、コブシの近縁種. 花卉の数が多い.



福島県・只見町の天然記念物に指定されている大コブシ (実際にはキタコブシ)。剪定を受けずに育ち、ゆったりおおらかな樹形.